

世代間正義と民主的説明責任 —世代会計と増税をめぐる法哲学的論点—

宇佐美 誠
(東京工業大学)

1. 本報告の主題

1.1. 現況と原因

1.1.1. 現況：巨額の財政赤字と社会保障費の増大

1.1.2. 原因：日本型再分配の慣性，社会保障制度の設計問題，少子高齢化と閉鎖性

1.2. 改革に関わる法哲学的論点

1.2.2. 理念論：財政・社会保障の持続可能性の根拠としての世代間正義

1.2.3. 現実論：民主制下の公共政策に求められる説明責任

2. 世代間正義

2.1. 正義とは何か

2.1.1. 正義への疑い：内容空虚では？ 独善的では？

2.1.2. 正義：権衡という抽象的意味，具体的場面で最善の具体的意味をめぐる討議

2.1.3. 2つの次元：対象内権衡／対象間権衡

2.2. 世代間正義とは何か

2.2.1. 世代：コーホート，過去世代／現在世代／将来世代

2.2.2. 世代間正義：コーホート間および現在世代－将来世代間の受益・負担の権衡

2.3. 正義回復としての財政・社会保障改革

2.3.1. 現況への評価：幼年層や将来世代に過大な負担を担わせる世代間不正義

2.3.2. 財政・社会保障改革：財政破綻回避→高年層・壮年層の利益，世代間正義

3. 説明責任

3.1. 民主制における合意

3.1.1. 2つの合意：現実的合意／熟議的合意（←十分な情報，不偏的姿勢，自由討議）

3.1.2. 政治的目標：現実的合意の多元性・近視眼性・利己性，熟議的合意の追求へ

3.2. 世代会計の公開の意義

3.2.1. 世代会計の公開：現状の周知や対処必要性の説明による熟議的合意の促進

3.2.2. 政治的賢慮：持続可能性という価値の提起，国債市場への影響の考慮

3.2.3. 長期的意義：知識・価値の継承，現在世代による新認識の将来世代への継承

3.3. 増税の必要性と留意点

3.3.1. 財政再建の両輪：日本型再分配・社会保障制度の改革と増税

3.3.2. 説明責任：世代会計の公開を含む多様な手法による熟議的合意の促進

3.3.3. 長期的意義：社会制度の継承，現在世代による新政策の将来世代への継承

3.3.4. 世代内正義：消費税の免税点と捕捉実態，逆進性の緩和

4. 結 論

井堀利宏「年金における世代間公平」鈴木興太郎・宇佐美誠・金泰昌編『公共哲学 20 世代間関係から考える公共性』東京大学出版会，2006 年。

宇佐美誠「正義と利益：法政策学の 2 つの礎石」『新世代法政策学研究』第 10 号，2011 年。
——「将来世代への配慮の道徳的基礎：持続可能性・権利・公正」鈴木興太郎編『世代間衡平性の論理と倫理』東洋経済新報社，2006 年。

鈴木興太郎・蓼沼宏一「地球温暖化の厚生経済学」鈴木興太郎編『世代間衡平性の論理と倫理』東洋経済新報社，2006 年。

Cohen, Joshua, *Philosophy, Politics, Democracy: Selected Essays*, Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 2009.

Gosseries, Axel and Lukas H. Meyer (eds.), *Intergenerational Justice*, Oxford: Oxford University Press, 2009.

Gutmann, Amy and Dennis Thompson, *Democracy and Disagreement*, Cambridge, Mass.: Harvard University Press, 1996.

Habermas, Jürgen, *Theorie des kommunikativen Handelns*, 1. Auf., 2 v., Frankfurt am Main: Suhrkamp, 1981.